

山田みやこの活動報告

令和5年11月16日(木)

第20回全国農林水産物直売サミット

未来へつなげる直販運動～直販所の持続と挑戦～

主催 (一財)都市農山漁村交流活性化機構

会場 ライトキューブ宇都宮

直販所間のネットワーク、6次産業の農林水産物の地域づくり、直販所の持続的な発展と未来に向けた直販所のあり方等の発表があった。

一番印象深かったのは(株)たくみの里の取り組み。

代表取締役西坂文秀さんは愛媛県から移住。(株)たくみの里を立ち上げた。道の駅「たくみの里」、果樹園観光農園「モギトーレ」、温泉施設の経営改善に奔走中。コロナ過の辛い体験を乗り越え、生産者の収入と集客につながる「藁アート」を新たに仕掛けた。多様なフルーツを使ったスイーツを開発し、オンラインショップを強化するなど、新たな挑戦を続けている。


また、耕作放棄地でブドウ栽培を開始し、ワイン作りもスタート。観光客頼みの道の駅ではなく、地元の農業と観光が手を組み、観光で生じた生ゴミから堆肥を作り、その堆肥で作った農産物を旅館やホテル、給食などで使用する循環型農業の仕組みづくりを進めている。

道の駅に新たな役割と、地域の活性化を目指した取り組みである。


第20回全国農林水産物直売サミット
リレートーク③ 資料

中山間地域の直売所で、作る・稼ぐ・集める仕掛けづくり




たくみの里 宿場通り



(株)たくみの里
代表取締役 西坂 文秀



たくみの里とは



- 330haの広大な里山を観光資源として活用
- 里に点在する「たくみの家」では農村の手仕事体験できる
- 二地の人とのふれあい、音楽かき農村風景に出会える場所

1